
好きなんです。

紅月 むっ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
好きなんです。

【Nコード】
N3664M

【作者名】
紅月 むう

【あらすじ】
意味不明なものです（）

（前書き）

自分で読んでも意味不明・・・。

『好き。』

こんなに人を好きになったの初めてです。
君に逢う前のあたしは何も知らなかった。

『恋』というものがどんなに苦しいものか。
でも苦しくても生きている限りあたしたちは恋をしつづける。

たとえば、叶わぬ恋だとしても。

「空 おはよーっ！」

「…はよ。」

「眠そーっ！！ あはは」

沖田 空。

とにかくうるさい奴。

どこのクラスにもいるでしょ？ 調子こいてるやつ。その分類にはいる。

でもそういう奴に限ってモテる。そしてうるさい女子ども（そういう人たちも絶対クラスにいるっしょ？）は空にたかる。

今日だってそうだ。うちのクラスの女子どもがたかってる。

…あたしだってしゃべりたい。けど、話題ないし、変なこと言っ

何こいつみたいに思われたくない。だからまともにしゃべったことがない。

好きになったきっかけは単純。去年、中学の入学式の時のこと。

「君、高城小？」

っていきなり後ろから話しかけられた。高城小出身じゃないあたしはとっさに首を振った。

それだけだ。その時は何も思わなかった。時間が経つと気になるようになった。1年のときも違うクラスだったからあまり会わなかったけど、見つけると目で追ってしまうようになって…。

いつかわからない。気づいたら『気になる』から『好き』に変わっていた。

好きになってから1年と3ヶ月以上。

あたしの最高記録だ。昔のあたしはすぐ好きな人が変わった。

今思うと『好き』なんかじゃなくただ『かっこいい』って思っただけだと思う。

だって夜、会いたくなって胸が苦しくなることなんて1度もなかったから。

あたしの好きなこと。君を見ること。それだけで幸せ。それだけでいい。

ずっとそう言い続けてきた。でもそれは自分に言い聞かせていただけかもしれない。嫌われることを恐れて前に進めない自分に言い訳をしていたのかもしれない。

だから、あたしは何も言えない。こんなあたしには何も言う権利はない。

「お幸せに！」

「いつまでもラブラブでいてね！！」

放課後。教室に忍び込んで空の机を見てしまった。

「今日、彼女としゃべったあ！？」

「うん。」

空が仲のいい友達と話してるのを聞いてしまった。

別に彼女がいてもいい。空がそれで幸せなら。これもずっと言い続けてきたこと。

だけど、本当にいるってなると違う。空とあの子のことを考えると胸が張り裂けそうになる。

それと空の邪魔にはなりたくないって思った。だから、この頃はあまり見ないように頑張っている。

この前まではずっとがいガン見してて、空と目が合うとうれしくなつて、こんなに毎日見てるんだからあたしが好きってこと、本人にばれてるだろうな。別に本人にならばれてもいいや。

って思ってた。でも、今になってわかること。迷惑だっただろうな。ウザかっただろうな。

だからあたしは辛くてもいい。空が幸せなら……って心から思う。

それにね、意識しないようにしてたら好きかどうかわからなくなってきた。

もしかしたら、ただ仲良くなりたかっただけかもしれない。

わからない。わからない。わからない。

あの人のどこがいいかさえ、わからなくなった。

今日は1度も見なかった。だけど、何とも思わなかった。

今日は帰りに見れた。嬉しかった。

好きか。好きじゃないか。

『ペンかして!?!』

びつくりした。突然話しかけられたから。
とっさに握っていたシャーペンを差し出す。

「書けねーじゃん。」

…手に書きたかったらしい。ボールペンを差し出す。

『国語のファイル』

空は手にそう書いた。忘れたのかな？

『ありがとう。』

その一言が嬉しかった。

好きだ。あたし、空のこと好きだ。

忘れていた気持ちが蘇ってくる。

空が話しかけてくれた。
嬉しい。すごく嬉しい。

たとえ振り向いてくれることがなくても、あたしは空のことが好きだ。

たとえ彼女がいようと、あたしは空のことが好きだ。

だって好きになっちゃったんだから、しょうがないじゃん。

叶わぬ苦しい恋だとしても、この気持ちを忘れることなんてできないから。

あたしは…

うるさくて、意地悪で、ばかで、かつこいい空が大好きです。

（後書き）

何を書きたいのかわかんなくなつたorz

今後に期待しないでくださいwww

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3664m/>

好きなんです。

2010年10月28日06時37分発行